

令和8年度

のびのび石川っこ

研究推進だより

令和8年7月16日

「自分の考えをもち、他者とかかわり、自分と向き合う児童の育成」

～心ゆさぶる学びのデザイン～

入学・進級し新たな気持ちで学校生活が始まってから、はや3か月ほどが経ちました。子どもたちは、「分きたい」「できるようになりたい」という思いで、毎日の学習を頑張っています。

今年度は、「主体的に学習に取り組む児童」「自分の思いや考えを言葉で表現し合える児童」「基礎・基本が身に付いた児童」の育成を目指し、「気付き」「対話」のある授業、基礎・基本の力を定着させる取組を進めています。また、居心地がよく安心できる学級が何より大事だととらえ、学級活動や「おはなしタイム」などで児童同士がつながる活動を行っています。

重点教科を「特別の教科 道徳」とし、本校が目指す児童の育成に向け全教職員で取り組んでいきます。今後も、保護者の皆様のご協力をお願いすることがあると思いますが、どうぞよろしくお願いいたします。



京都府総合教育センターから2名の指導主事様をお招きし、教員研修を行いました。子どもたちが対話をとおして多様な価値観にふれ、自分の生活や生き方について考える授業づくりについて学びを深めました。

【道徳の授業の様子】

☆5年研究授業「イルカの海を守る」

様々な生き物が住む豊かな自然。そんな自然をたくさんの人に知ってもらいたいと地元人々は様々な活動していました。ところが、観光客の増加により環境が悪くなっていきました。「自慢の海を知ってもらいたいけれど、自然が壊れるのは困る…。」「このままでは自然も生き物も人間もだめになってしまう…。」と、いろいろな立場で考えました。そして、与謝野町のすばらしい自然を思い起こし、自分で何ができるかを考えました。友達の意見も聞きながら、自分のこととして考える、よい時間となりました。



☆ひまわり学級「心のレシーフ」

クラス対抗スポーツ大会でソフトバレーボールに出場する男女4人。運動が苦手でやる気がなさそうに見えた男子が、実は地道に練習していたことを知り、自分の行動を反省する女子。相手のよさに目を向け、学び合い、支え合いながらよい関係を築こうとすることが大切だとみんなで考えました。



☆1年「ハムスターの あかちゃん」

ハムスターの誕生と成長の話です。自分が生き物を育てた経験を思い出しながら、ハムスターの赤ちゃんやお母さんに応援のメッセージを送りました。最後に、自分の成長にも目を向けることで、命の大切さを実感し、これからも自分の命も小さな命も大切にしようと考えをきっかけとなりました。



☆2年「げんきに そだて、ミニトマト」

一生懸命ミニトマトを育てているわたし。「(あなたとミニトマト)なんだかにているわね。」というお母さんの言葉から、さらにがんばって育てようという思いになる主人公。まさしく今、生活科で育てている野菜たちを思い浮かべながらミニトマトを大切に育てる主人公に自分を重ねて自然を大切にする心を共有しました。



☆3年「作品のかち」

絵の上手な友達に描いてもらった絵。自分もその子みたいに上手になりたいと思って真似て描いた絵が賞に入った!嬉しくて友達に報告したら友達は泣きだして…。何がいけなかったんだろう…。みんなでそれぞれの気持ちを考える中で気を付けなければならないことが見えてきました。また、著作権についても知りました。



☆4年「いっしょになって、わらっちゃだめだ」

サルに似ているとからかわれている友達と、おもしろがっている周りの友達。家族の言葉をきっかけに「ぼく」は「いっしょになってわらっちゃだめだ。」と行動に移しました。「悪いことだな。」と思ったとき、正しい行動を取ろうとすることはとても勇気のいることだけれど、大切なことだと改めて考える時間となりました。

☆6年「雨上がりの日のこと」

自分の長所・短所って何だろう？

このお話に出てくる2人の長所を考えることをとおして、自分のよさや、苦手なことを克服するために努力していること等を考えました。そして、それぞれの長所をのびしながら苦手なことを改めることが、自分らしく生きることにつながる、ということに気付きました。



～次ページに続きます～

おはなしタイム

今年度のおはなしタイムでは、学級だけでなく1～3年生の低学年、4～6年生の高学年、全校と話す人数を広げました。4つの「好きな食べ物」の中から似た食べ物でグループを作り、「おいしい食べ方」や「なぜ好きなのか」などを交流しました。全校での交流では、どこのグループに入ったらよいか分からない低学年に、高学年が「こっちだよ。」と誘う場面も見られ、男女・学年関係なくグループを作ることができる石川っこたち。さらに全校で仲を深めることにつながりました。子どもたちからは、「友達の知らない所を知ることができた。」「楽しかった。またしたい。」という感想がありました。



低学年・高学年別
おはなしタイム



好きな食べ物と同じ
だと話しやすいね。

「何が好き？」
「〇〇が同じだ!」



「〇〇味が好き!」
「おいしいよね~!」



全校
おはなしタイム



どうやって食べるのが
好き?



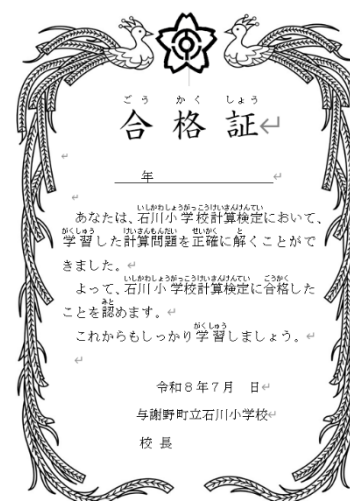
「家庭学習がんばり週間」・「石川検定」

「家庭学習がんばり週間」へのご協力をお世話になりました。子どもたちの学習の成果が学校での様子にも表れています。今年度は、ひらがな検定・漢字検定・計算検定に向けてそれぞれどんなことに取り組んだのかを記録しました。検定を意識して難しい漢字の練習をしたり、自主学習で苦手な計算問題に取り組んだりしていました。「家庭学習がんばり週間」での成果を石川検定で発揮し、ひらがな・漢字や計算などの検定で多くの合格者がありました。

検定後には、「自分がどんな頑張りをしたから合格したのか」や「頑張りの結果どうだったのか」、「今後の家庭学習への取り組み方」などについて振り返り、検定の結果を次に活かそうとする姿勢が見られました。

夏季休業中も目標をもって学習し、2学期からスムーズに学習が進められるよう、各ご家庭でのご支援をよろしくお願いいたします。

「家庭学習のがんばり(振り返り)」



【児童より】

- ◆ひらがなを正しい書き順で何回も練習しました。計算もひらがなもどちらも合格して嬉しかったです。
- ◆プリントをいっぱいしたから100点を取れて嬉しかったです。
- ◆漢字の読みを頑張りました。覚えられて嬉しかったです。
- ◆苦手なところをしっかりと復習することができました。目標点以上とれて嬉しかったです。
- ◆たくさん漢字練習をしたからその成果を発揮することができました。頑張って練習してよかったです。
- ◆計算ミスが多かったから自主勉強していたらよかったと思ったので計算の復習をたくさんしようと思う。

【保護者より】

- ◆毎日学習する力が少しずつ身に付いてきました。字を丁寧に書くことや、計算音読を繰り返して頑張りました。
- ◆毎日、もっと勉強したい!!と意欲的に頑張っていました。
- ◆この一週間で学習習慣が身につけ、土日もたくさん漢字を練習しました。自分で考えて取り組む姿が素敵でした。難しいところを相談したり、検定対策を一緒にしたりしました。
- ◆普段は長時間勉強するのが難しいのですが、自分でやり始める時間を決め、頑張ることができました。

「家庭学習」がんばりカード ～「学びちゃん」をしよう～
()年 第()回

※学習時間のめやす
3・4年生 40分～1時間 5・6年生 1時間～1時間30分

項目	漢字検定	計算検定
目標		
取組と内容		
結果		
振り返り		

項目	漢字	計算	目標達成率	学習時間
月1				
月2				
月3				
月4				
月5				
月6				

備考：学習の振り返りや感想などを書く欄です。
学習の振り返りや感想などを書く欄です。
学習の振り返りや感想などを書く欄です。

取組む人から